



発行者: 山下幹雄 (尾張旭市議会議員)

488-0076 尾張旭市新居町山の田 3208-20 TEL: 0561-52-4344

平成15年初当選。現在3期目 (維新の会・福祉・改革ライン代表)

賛同できない！ 意志無き給与ボーナス引き上げ

尾張旭市議会 12 月定例会における主な議論や議決を報告させていただきます。本年度一般会計の補正予職員給与期末手当の引き上げ条例改正案が審査されました。あわせて特別職である 市長・副市長・議員の期末手当（ボーナス）の引き上げも審査され賛成多数で可決されています。

人事院勧告に基づいた人件費の増額

市長：22万3千円のボーナス増額

副市長：17万9千円のボーナス増額

議長：11万5千円のボーナス増額

副議長：10万円のボーナス増額支給

議員（1人あたり）9万2千円 //

職員：平均.039%引き上げで、給料・勤勉手当の全合計で約3,347万円

【山下みきおの論点】 今回の人事院の勧告について考えるのですが、政府が云う景気回復は、实体经济を伴わない「お金の空中戦のようなもの」ではないかと思えます。GDPは、マイナス傾向から抜け出しておらず、給料は上がったが物価も上がり家庭のお財布もマイナス成長となっています。更に、ここで給料が上がった職種はたとえば、金融関連と経団連に名前を連ねる超一流企業の正規労働者が中心としか思えません。それも、政府との取引の中での約束事であり、どうも一部の人たちで創り上げられた、虚構のような政策に思えてなりません。そして、公務員給与の引き上げも国、地方合わせて340万人の給料引き上げによる1兆円の経済効果と云う、数字あわせに組み込まれている

わけです。中小零細事業者並びに、
そこで働いている方々や非正規労働
者、年金生活者には、この政策の恩
恵をどこに見出したら良いのでしょ
うか。

政策に、政党や政治家自らの権力保
持的観点が入ったなら、必ず
何処かではころびが出てくるでしょ
う。そんな感覚を持たせる「人事院
勧告」であったように私は思いま
した。

真に地域民の立場に立って政治を進
めるには、官僚による中央集権に対
峙し自立した政策を自らの意志で進
めるべきだと考えます。

私は、この中央集権的な手
法において、地方の意志を
示さなかった条例改正に
賛同しません（反対）

でした。**ちなみに**

●長久手市では、市長・副市長のボー
ナスを引上げることは、議案にも上がら
ず据え置き。(市長の意思で上げな
かった)

●議員のボーナスの引上げの審査は、
長久手市をはじめ長野佐久市なども
廃案となっています。(自らの意思で据
え置きとした)

衆議院総選挙の所見

暮れの慌ただしい中実施された解散
総選挙。終わってみれば現政権の思
い通り感があります。

安倍首相は、何がしたかったのだし
ょう。次の政策を進める為の担保を
国民から取ったわけですが、戦後最
低の投票率52.66%と マスコ
ミ誘導による政治戦略は、とても理
解できるものではありません。「給
料上がったでしょ・・・」「雇用も増
えたでしょ・・・」「株価も上がって
いるし・・・」確かに数字的にはそう
かもしれませんが、この数字の作り
方に問題があります。

私の所属する**維新の党**は、大切な
経済政策や税制課題を推進するた
めには、国民との信頼関係が必要であ
り「政治とカネの問題、天下りや既
得権保持の組織体質改革」を訴えま
した。私も「正直者が馬鹿を見
ない社会にしたい！」その強い
意志で政治に取り組んでいます。



SNSで情報発信中！検索⇒山下幹雄

HP:yamamiki.com

お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

**山下みきお は、次期愛知県会議員選挙、維新の党
公認候補予定者として公表されています。**

http://ishin-aichi.jp/1st_kounin.html (維新の党愛知県総支部 HP をご参照下さい。)